

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetooth機能付クロックラジオ			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RAD-MBT101Z	品番	03-0775	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様			
	★ご住所 〒 一 電話 ()			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			
	印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-993-006	048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:00	
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます	
修理に関するお相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます	

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

Bluetooth機能付クロックラジオ

型番：RAD-MBT101Z 品番：03-0775



このたびは、AudioComm® Bluetooth機能付クロックラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1	外部音声入力端子で外部機器と接続する	13
安全上のご注意	1~3	スリープ機能	14
Bluetoothについて	4~5	アラームの使いかた	15~16
各部の名称	6	故障かなと思ったら	17
電源について	7	お手入れのしかた	17
時刻の設定方法	8	主な仕様	18
ディスプレイ表示の明るさを調節する	8	保証書とアフターサービスについて	18
ラジオを聞く	9~10	保証書	裏表紙
Bluetoothで音楽を楽しむ	11~12		

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

	<p>心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。</p>		<p>浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。</p>
	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。乾電池も抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</p>		<p>乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがあります ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。</p>
	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。乾電池も抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</p>		<p>医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p>
	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電の原因となります。</p>		<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</p>		<p>自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があつたときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切つただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときは、すぐに電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。</p>		<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機を新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。</p>		<p>本機や電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードの上に本機をのせない ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p>
			<p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。</p>
			<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない ●電源コードを傷つけたり、加工したり、コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●破損して火災・感電の原因となります。</p>

注意

	<p>お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く ●火災・感電の原因となることがあります。</p>		<p>電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。</p>
	<p>長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も抜く ●火災の原因となることがあります。</p>		

⚠ 注意

	ぬれた手で操作しない ●感電の原因となることがあります。		電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	大音量で聴き続けると、電源を切る前に音量を抑える ●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすことがあります。 ●大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。		暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	乾電池は、極性表示(プラス+とマイナス-)の向きに注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。
	持ち運ぶときは、アンテナを壁などから取り外して束ねる ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。		シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。
	指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となることがあります。		窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		日本国外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠ 注意

- ・ $\oplus\ominus$ の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときはそれに従って廃棄してください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、無線通信により音楽を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

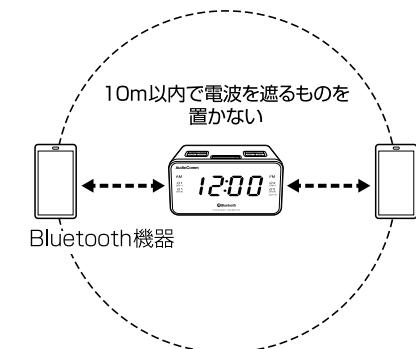
【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】 A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

※本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。



セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。本製品は日本国内でのみ使用できます。

204-B00556

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

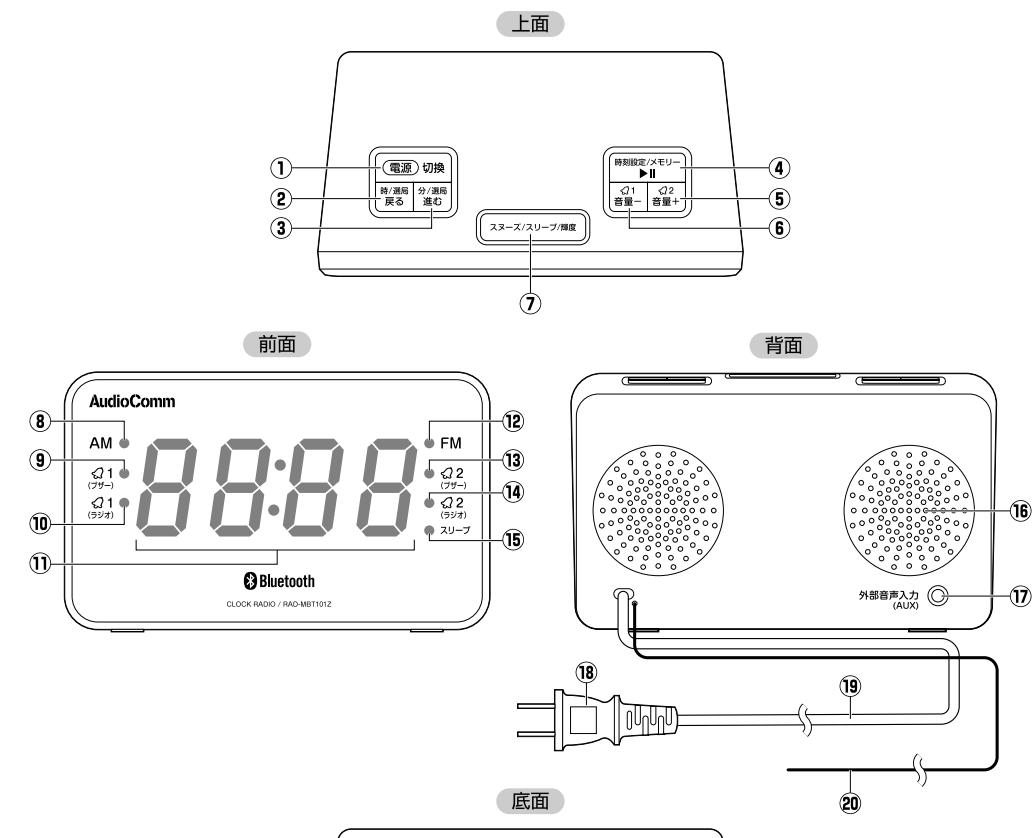
1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えはパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

Bluetoothについて(つづき)

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えることにより、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があるので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・コピーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



- | | | |
|------------------------|-----------------|--------------|
| ① 電源／モード切換ボタン | ⑧ AM放送表示ランプ | ⑯ スリープランプ |
| ② 時設定／選局(戻る)ボタン | ⑨ アラーム1(ブザー)ランプ | ⑰ スピーカー |
| ③ 分設定／選局(進む)ボタン | ⑩ アラーム1(ラジオ)ランプ | ⑱ 外部音声入力端子 |
| ④ 時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタン | ⑪ ディスプレイ | ⑲ 電源プラグ |
| ⑤ アラーム2／音量(+)ボタン | ⑫ FM放送表示ランプ | ⑳ 電源コード |
| ⑥ アラーム1／音量(-)ボタン | ⑬ アラーム2(ブザー)ランプ | ㉐ FMワイヤーアンテナ |
| ⑦ スヌーズ／スリープ／輝度調節ボタン | ⑭ アラーム2(ラジオ)ランプ | ㉑ 電池ボックスカバー |

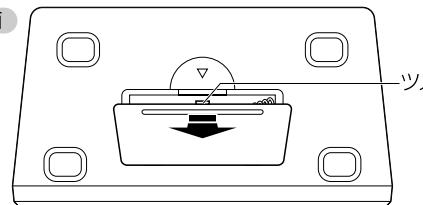
※本機のスピーカーはモノラルです。

電源について

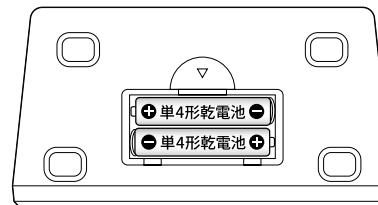
時計バックアップ用乾電池について

時計バックアップ用乾電池を入れておくと、停電時でも時刻設定を保持します(ディスプレイ表示はしません)。

底面



- ① 本機底面にある電池ボックスカバーのツメを矢印の方向に押し下げながら手前に引き、電池ボックスカバーを取り外します。
- ② 単4形乾電池2本(別売)を図のとおり正しく入れます。
●コイルばねのあるほうがマイナス(⊖)です。
⊖側から先に入れてください。
- ③ 入れ終わったら、電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。



単4形乾電池2本(別売)

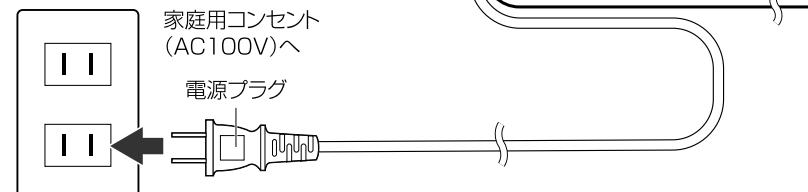
家庭用コンセントへの接続

電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

●電源プラグを接続すると時刻表示(0:00)が点滅します。
「時刻の設定方法」(P.8)を参照して、現在の時刻を設定してください。

●長期間本機を使用しないときは、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、時計バックアップ用乾電池も取り外してください。

! 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。



時刻の設定方法

●電源が切れている状態で操作してください。

●本機の時刻表示は24時間表示です。

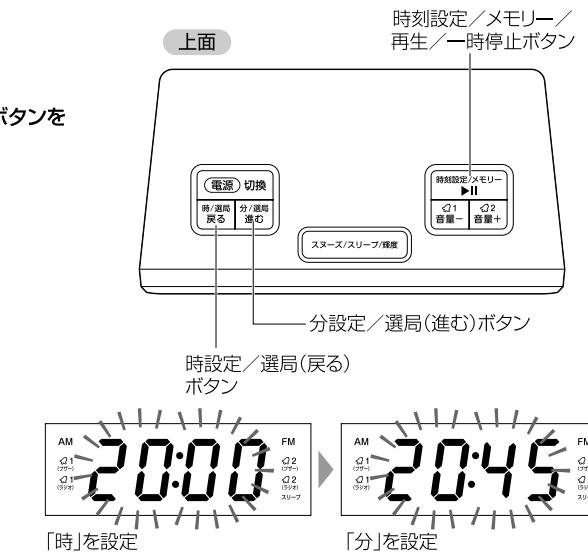
- ① 時刻表示が点滅するまで、時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを長押しします。



- ② 時刻表示が点滅している間に、以下の方法で「時」と「分」を設定します。

●「時」の設定：
時設定／選局(戻る)ボタンを押す。

●「分」の設定：
分設定／選局(進む)ボタンを押す。
※どちらのボタンも押すたびに数字が変わり、長押しすると早く送られます。



- ③ 時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを押すと、設定が確定します。

ヒントとご注意

●約10秒間操作しない時間が続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。修正したいときは、最初からやり直してください。

ディスプレイ表示の明るさを調節する

スヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンを長押しすると、ディスプレイ表示の明るさを4段階で切り換えることができます。



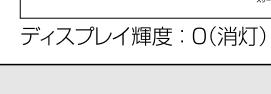
明るさが変わまるまで長押しし、さらに変更するときは、もう一度長押ししてください。



ディスプレイ輝度：3



ディスプレイ輝度：2



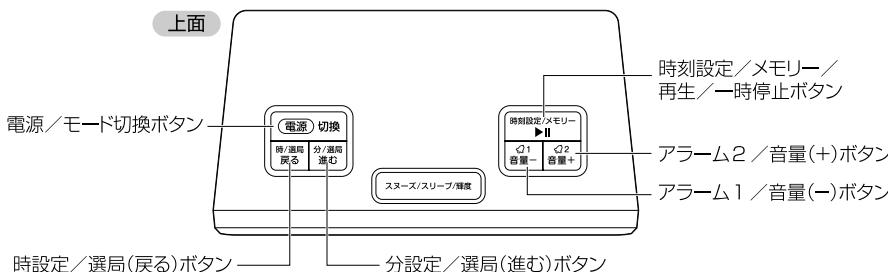
ディスプレイ輝度：1

ディスプレイ輝度：0(消灯)

ヒント

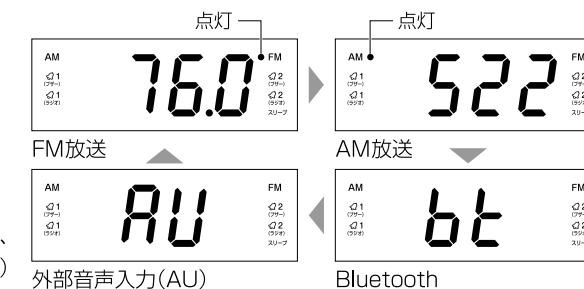
●ディスプレイ輝度：0(消灯)のときは、任意のボタンを短く押した場合でも、ディスプレイ輝度：3になります。

ラジオを聞く



1 電源／モード切換ボタンを押して電源を入れます。

2 電源／モード切換ボタンをさらに数回押して、FM放送またはAM放送を選びます。
●電源／モード切換ボタンを押すたびに、FM放送→AM放送→Bluetooth(bt)→外部音声入力(AU)の順でモードが切り換わります。



3 時設定／選局(戻る)ボタンまたは分設定／選局(進む)ボタンを押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

●上記いずれかのボタンを押すたびに、FM放送では0.1MHz単位で、AM放送では9kHz単位で周波数が増減します。
●上記いずれかのボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、一番最初に受信できた放送局で止まります。
●周波数は約5秒間表示され、その後、時刻表示に戻ります。その後、ディスプレイ上では周波数表示(約3秒間)と時刻表示(約8秒間)を交互に繰り返します。

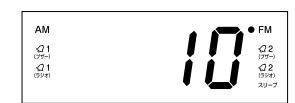
4 アラーム1／音量(-)ボタンまたはアラーム2／音量(+)ボタンを押して、音量を調節します。

●00~16までの間で調節できます。
●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
●音量レベルは約3秒間表示され、その後、周波数表示になります。さらにそのままにすると、時刻表示に戻ります。

5 終了するときは、電源／モード切換ボタンを長押しして電源を切れます。



AM放送の受信例
※周波数単位表示(MHz・kHz)はありません。



【FM補完放送「ワイドFM」について】本機はFM周波数帯域が76.0~108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

ヒント 受信状態を良くするには

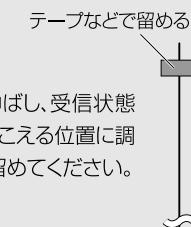
●AM放送の場合

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●持ち運ぶときは、破損防止のため、FMワイヤーアンテナを壁などから外し、束ねてください。



メモリー登録について

よく聴く放送局などをメモリー登録しておくと、簡単なボタン操作で選局することができます。AM放送、FM放送ともに最大20局まで登録できます。

1 メモリー登録したい放送局を受信している状態で、「P01」が点滅するまで、時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを長押しします。



●すでに登録済みのメモリー番号があるときは、未登録のメモリー番号が表示されます。
●メモリー番号を変更せずに登録するときは、そのままステップ③に進んでください。

2 メモリー番号を変更するときは、時設定／選局(戻る)ボタンまたは分設定／選局(進む)ボタンを押して、任意のメモリー番号(P01~20)を選びます。



●メモリー番号が点滅している間(約3秒間)に操作してください。
●登録済みのメモリー番号を選ぶと、上書き登録となります。

3 時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを押すと、登録が完了します。

4 登録した放送局を呼び出すには、時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを数回押して、メモリー番号を選びます。

ご注意

●ステップ①~②でメモリー番号の点滅が途中で終了した場合、その時点でのメモリー番号に登録されます。修正したいときは、最初からやり直してください。

Bluetoothで音楽を楽しむ

はじめて使うときは(ペアリングのしかた)

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。

1 手元に本機と登録したい相手側機器を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 相手側機器は電源が入っている状態にしてください。

2 電源／モード切換ボタンを押して、本機の電源を入れます。さらに数回押してBluetooth(bt)を選びます。

- 電源／モード切換ボタンを押すたびに、FM放送→AM放送→Bluetooth(bt)→外部音声入力(AU)の順でモードが切り替わります。
- Bluetooth(bt)を選ぶと、電子音が鳴ります。ディスプレイ上では「bt」の点滅(約3秒間)と時刻表示(約8秒間)を交互に繰り返し、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)になります。



3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Windows Mobile : [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器のリストに本機の名称「RAD-MBT101Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※スマートフォンによっては、ご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると…

電子音が流れます。相手側機器で再生などの操作をしてください。Bluetoothモードでは、「bt」点灯(約3秒間)と時刻表示(約8秒間)を交互に繰り返します。

ヒントとご注意

●対応プロファイル：

本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

●多くの機器の場合、一度登録するとそれ以降は自動で接続されます。機種によってその都度接続操作が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽などの再生をお楽しみください。

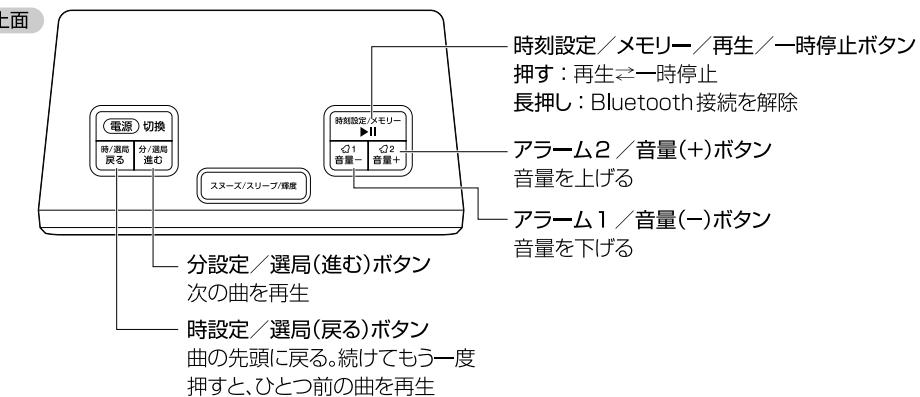
●一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：

- ・時刻設定／メモリー／再生／一時停止ボタンを長押しすると、Bluetooth接続が解除されてサーチモードになります。この状態で相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
- ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングしてください。

●スマートフォンと接続中に電話着信があると、本機は再生を中断します。本機には通話機能がありませんので、スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を終了すると、再生を再開します。

Bluetooth接続時のオーディオコントロール

Bluetooth接続時は、本機でも以下の操作が可能です。ただし、接続しているBluetooth機器によっては、操作できない、または実際の動作が異なることがあります。



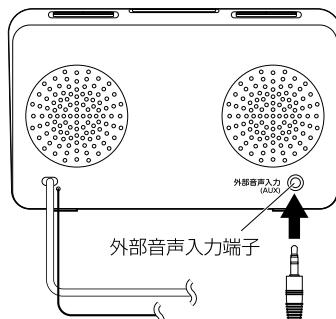
ご注意

- 終了するときは、再生を停止するだけでなく、電源／モード切換ボタンを長押しして本機の電源も切ってください。本機の電源を入ったままにすると余分な電力を消費します。また、相手側機器も必要に応じて電源を切ってください。

外部音声入力端子で外部機器と接続する

- Bluetoothに対応していない機器(ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなど)の場合は、Φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って接続することにより、外部スピーカーとして使うことができます。
- コードを接続するときや取り外すときは、必ず双方の電源が切れた状態で行ってください。

背面



外部音声入力端子

Φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)

外部機器のイヤホン端子、
または外部出力(LINE OUT)
に接続

外部機器

- 1 電源が切れている状態で、
本機と外部機器を接続します。

●左図を参照して正しく接続してください。

- 2 電源／モード切換ボタンを押して電源を入れます。
さらに数回押して、外部音声入力(AU)を選びます。

●電源／モード切換ボタンを押すたびに、FM放送→AM放送→Bluetooth(bt)→外部音声入力(AU)の順でモードが切り換わります。
●外部音声入力モードでは、「AU」点灯(約3秒間)と時刻表示(約8秒間)を交互に繰り返します。
●突然大きな音が出るのを防ぐため、再生を始める前に双方の音量を絞ってください。



外部音声入力(AU)

- 3 外部機器側で再生などの操作をします。

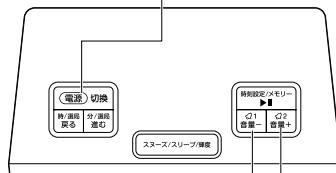
- 4 音量を調節します。

●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
●音量調節は本機及び外部機器側のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ってください。他のモードに切り換えたとき、突然大きな音が出ることがあります。
●接続機器側の音量調節機能を本機で操作することはできません。

- 5 終了するときは、電源／モード切換ボタンを長押しして電源を切ります。

●コードを取り外すときは、必ず電源を切ってから行ってください。

上面 電源／モード切換ボタン



アラーム1 / 音量(-)ボタン
アラーム2 / 音量(+)ボタン

スリープ機能

自動的に電源が切れるまでの時間を、90分～10分まで10分単位で設定できます。

- 【設定のしかた】 電源が入っているときに、スヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンを押します。押すたびに90から10分単位で変化しますので、設定したい表示になったら押すのをやめてください。そのまましばらくすると設定が確定し、時刻表示に戻ります。スリープ機能が有効なときはスリープランプが点灯します。



スリープランプが点灯

- 【解除のしかた】 設定したスリープ機能を解除するには、「OFF」が表示されるまでスヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンを数回押してください。スリープ機能が解除されると、スリープランプが消灯します。

- 【残り時間を確認するには】 スリープ機能が有効なときにスヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間を表示します。しばらくすると時刻表示に戻ります。



残り時間の表示例

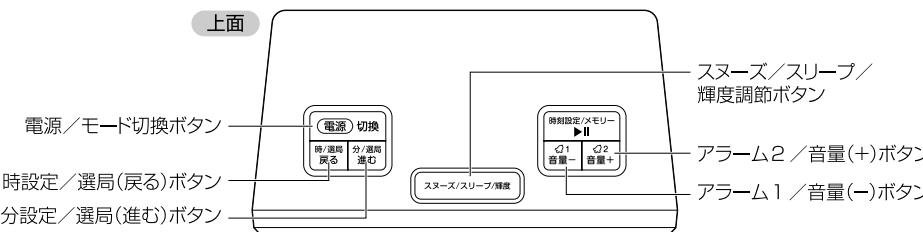
ヒントとご注意

- あらかじめアラームを設定しておくことにより(P.15～16参照)、スリープ動作後、例えば翌朝などに本機を起動させることができます。
- スリープ機能により電源を切ることができるのは本機のみです。Bluetooth接続時の相手側機器や、外部音声入力における外部機器の電源を切ることはできません。

アラームの使いかた

本機では、アラーム1とアラーム2の2つの設定を使い分けることができます。また、それぞれのアラームは、起動時の音源(アラーム音)として、ブザー音またはラジオ放送を選ぶことができます。

- ここではアラーム1への設定方法を説明します。アラーム2へ設定したい場合は、説明文中の「アラーム1／音量(-)ボタン」を「アラーム2／音量(+)ボタン」に、「アラーム1(ブザー)ランプ」「アラーム1(ラジオ)ランプ」を「アラーム2(ブザー)ランプ」「アラーム2(ラジオ)ランプ」に読みかえて操作してください。



アラーム設定のしかた

電源が切れている状態で設定してください。

- ラジオを起動時の音源として使う場合は、事前に起動時に聴きたい放送局を受信し、音量を調節したうえで、電源を切ってください(このときに設定した音量で起動します)。
- ブザー音の場合は、音量調節はできません。

1 アラーム1／音量(-)ボタンを長押しします。

- ブザーまたはラジオのアラームランプと時刻表示(アラーム設定時刻)が点滅します。



2 必要に応じて電源／モード切換ボタンを数回押し、

アラーム音として設定したい音源を選びます。

- 電源／モード切換ボタンを押すたびに、以下のとおり切り換わります。



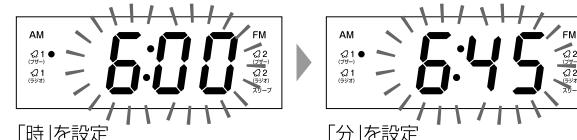
3 時刻表示が点滅している間に、以下の方法で起動させたい「時」と「分」を設定します。

●「時」の設定:

時設定／選局(戻る)ボタンを押す。

●「分」の設定:

分設定／選局(進む)ボタンを押す。



※どちらのボタンも押すたびに数字が変わり、長押しすると早く送られます。

※ボタン操作をしない時間が約10秒間続くと、その時点での内容で設定が確定します。修正したいときは、最初からやり直してください。

4 アラーム1／音量(-)ボタンを押すと、設定が確定します。

- アラーム設定が有効なときは、上記で設定したアラームランプが点灯します。

ヒントとご注意

- アラーム1とアラーム2を同じ時刻帯に設定することは可能ですが、同時に起動させることはできません。ひとつめのアラームが起動中に、ふたつめのアラームの起動時刻になると、ひとつめのアラームは停止し(スヌーズ中を含む)、ふたつめのアラームが起動します。
- アラームを設定した後、本機の電源を入れて何らかの操作をすると、アラームの設定が変わることがありますのでご注意ください(例: アラーム設定後に、違うラジオ放送を聴いたり、音量を変更すると、その放送局や音量設定で起動します)。
- 起動前にアラーム設定を解除するには、アラーム1(ブザー)ランプ及びアラーム1(ラジオ)ランプが消えるまで、アラーム1／音量(-)ボタンを数回押してください。

アラームが鳴ったら

●アラームを止めるには:

- ・【ブザー音の場合】 アラーム1／音量(-)ボタンまたは電源／モード切換ボタンを押すと止まります(起動中に音量調節はできません)。
- ・【ラジオの場合】 電源／モード切換ボタンを押すと止まります。ラジオの場合のみ、アラーム起動中に音量調節や選局操作が可能です。

ブザー音の場合もラジオの場合も、上記の操作でアラームを止めただけでは、アラームランプが点灯したままになっており、翌日の同時刻に再び起動します。起動させたくないときは、必ずアラーム1(ブザー)ランプ及びアラーム1(ラジオ)ランプが消えるまで、アラーム1／音量(-)ボタンを数回押して、アラーム設定を解除してください。

●スヌーズについて:

- ・アラームが鳴っているときにスヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンを押すと、一時的にアラーム音が停止し、9分後に再び鳴ります。スヌーズ中は起動中のアラームランプが点滅します。
- ・スヌーズは最大5回まで使えます。
- ・スヌーズ中に次の起動を停止させたいときは、電源／モード切換ボタンまたはアラーム1／音量(-)ボタンを押してください。

ヒントとご注意

- アラーム起動後、停止操作をしないと1時間にわたって鳴り続けます(途中でスヌーズ機能を使ったときは、スヌーズ中の時間を含めて最長1時間)。周囲への迷惑になりますので、絶対に放置しないでください。
- アラームを止めた後、再度電源を入れたときは、最後に電源を切ったときの音量設定にて電源が入ります。

故障かなと思ったら

症 状		チェック項目
共通	電源が入らない	○電源プラグが外れて(ゆるんで)いませんか。
	音が出ない	○音量が最小になっていますか。 ○モードは正しく選ばれていますか。
	ディスプレイ表示が暗い	○スヌーズ／スリープ／輝度調節ボタンで調整してみましたか。
ラジオ	ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していませんか。 ○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
Bluetooth	接続できない 再生音が出ない	○ペアリングは行ないましたか。 ○相手側機器が他の機器と接続中ではありませんか。 ○相手側機器で本機の登録が削除されませんか。 ○相手側機器の音量が最小または消音になっていますか。
	音が途切れる	○本機と相手側機器が10m以上離れていませんか。 ○本機と相手側機器の間に遮蔽物がありませんか。 ○周囲に無線LAN機器や電子レンジなど、電波を発する機器がありますか。Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ○周囲に無線機を使う施設や放送局がありますか。
外部音声入力	外部機器の音が出ない	○外部音声入力(AU)モードになっていますか。 ○φ3.5mmステレオミニプラグコードが正しく双方の機器に接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ○外部機器の音量が最小または消音になっていますか。
その他	アラームが機能しない	○起動時刻を正しく設定しましたか(本機は24時間表示形式です。午前と午後を間違えています)。
	アラーム音(ラジオ)が大きい(小さい)	○ラジオ設定の音量が、大きすぎたり小さすぎたりしていませんか。 ※ブザー音選択時は、音量設定はできません。
	アラーム音(ラジオ)にノイズが入る	○アラーム起動時刻における電波状態は良好ですか。ラジオの受信状況は時刻によっても変化します。事前に同じ時間帯で試すなどして、受信状況をご確認ください。

お手入れのしかた

- 本体や操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

主な仕様

電源	AC100V 50／60Hz
	時計用バックアップ電源：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
消費電力	4.4W ※電源オフ(時刻表示)時：0.6W
実用最大出力	0.8W
スピーカー	口径36mmスピーカー(8Ω)×1
ラジオ受信周波数	AM：522～1710kHz(9kHzステップ) FM：76～108MHz(0.1MHzステップ)
アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ FM：ワイヤーアンテナ
Bluetooth通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	A2DP, AVRCP
変調方式／周波数帯域	GFSK / 2.402GHz～2.48GHz
最大通信距離	見通し約10m(出力Class2)
接続端子	外部音声入力端子(φ3.5mmステレオミニジャック)
外形寸法	幅135mm×高さ83mm×奥行71mm(突起物含まず)
質量	約385g(電源コード含む、時計バックアップ用乾電池を含まず)
時計精度	月差約±45秒
付属品	保証書付取扱説明書

※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが実際の製品と一部異なる場合があります。
※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けております。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。